

令和5年度事業報告書

第1 事業の概要

1 概要

2023年の世界の経済情勢は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化や欧州経済の低迷、中国の不動産危機など不安要素が拡大しました。米国は予想に反し景気が堅調に推移したため、1月の1ドル129円台から11月には151円台と円安が進行しました。10月には、パレスチナ暫定自治区のガザ地区を実効支配するイスラム組織ハマスが突如、イスラエルへの攻撃を開始し、イスラエル軍がその報復攻撃を続け、3カ月で、ガザ地区の人口の85%以上に当たる200万人近くが家を追われています。同時にイスラエルに敵対する周辺国の組織が、紅海を航行する船舶などへの攻撃を繰り返したことで、中東での紛争リスクが増加しており、原油の調達国や輸送経路の変更など、リスク回避のためエネルギー価格の高騰を引き起こす想定外のかく乱要因が発生しています。2024年は多くの国で選挙が予定され、ロシア・ウクライナ戦争の長期化、中東での紛争リスクの中で、アメリカや欧州では増加する移民を起因とした極右勢力が台頭し、各国、国内秩序の維持に注力しており、選挙の結果によっては、世界情勢が激変し、分断する可能性があります。

2023年の日本の経済情勢は、3年以上続いた新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5月に変更になり、首相は「ウィズコロナの取り組みをさらに進めて平時の日本を取り戻していく」とし、年前半は景気回復をもたらしました。しかし、年後半は円安に伴う物価上昇が個人消費の停滞につながり、金融緩和が継続されました。一方で国内企業の姿勢は前向きであり、その結果、雇用は拡大し名目賃金は1.2%上昇しましたが、消費者物価指数が3.8%上昇と42年ぶりの高水準だったことから、実質賃金はマイナス2.5%となっています。経済成長のためには、世界主要国から落伍する日本の賃金水準を、物価上昇率を上回る賃金水準に引き上げることが必須の条件となっています。

国内水産業に関しては、東日本大震災で事故があった東京電力福島第一原子力発電所の処理水について、日本国内や韓国で抗議運動が続く中で、8月に海洋放出を決定しました。これに対して中国は、政治的な意図でホタテやナマコなど日本産水産物を全面禁輸としました。国内食品輸出業者約700社に加え、二次・三次取引などを含めるとさらに多くの企業で甚大な影響が及ぶとみられ、国内市場の拡大や中国に代わる代替輸出先の確保といった措置が急がれています。

2023年の北海道周辺の海面水温は平年より7℃(※8月)も高い水域が出現するなど、地球環境の変化が顕著に現れた年となりました。過去に10万トン以上の漁獲があったサンマは、2023年には14,908トンと10分の1に減少しました。過去に5千万尾を超える来遊があった秋サケも、2,257万尾と大幅に来遊が減少し、特に、日本海地域やえりも岬以西の太平洋地域では、前年の3割にも満たない漁獲量となりました。

海洋環境が変化している中、2023年の北海道漁業生産は、数量が約109万トン（前年比95%）金額は2,718億円（同87%）となりました。数量は、ホタテガイやサケが減少した一方、イワシやブリが増加したことなどにより、6年連続で100万トンを超える見込みとなっています。

石狩・後志管内の漁業は、秋サケの大幅減少などにより、2023年は、石狩で4千トン（前年比53%）、21億円（同46%）、後志管内で36千トン（同87%）、105億円（同88%）と大きく減少しています。

石狩湾新港の2023年の入港隻数は、1,388隻（前年比102.0%）、取扱貨物量で約562万トン（同103.2%）と増加しました。取扱貨物の中で輸出品の水産物は17,710トン（同57%）と大きく落ち込みました。外国との貿易額では、輸出が310億円（同76%）と減少しましたが、輸入は2千億円を超え3年連続して最高額を更新し、地域経済の発展に大きく寄与しています。

当協会については、これまでも協定航路及び操業漁場図を表示したカレンダー配布などで漁業被害の未然防止に努めてきましたが、残念ながら6月に積丹町沖合のタコ空釣り縄漁業で漁具被害が発生し、救済助成金を認定しています。また、4月には石狩湾新港管理組合を經由して自主航路遵守の啓発を行っています。

基本財産の運用については、円安が進むなど、為替や債券価格、株価が大きく変動する年でしたが、事業計画において確実、安全な運用収入を見込んだこともあり、経済情勢が激変する中で計画を上回る収益を確保することができました。

2 事業の内容

（1） 救済助成事業

石狩湾新港及び小樽港に入出港する船舶による原因者不明の漁業被害が、令和5年6月20日に1件発生し、12月18日に審査会（審査員12名、書面審査）で審査し、救済助成金を認定しています。

今後も引き続き「協定航路」の遵守を徹底するなど安全対策を積極的に推進し、船舶の航行の安全と漁業被害の未然防止に努めます。

発 生 年 月 日	令和5年6月20日
発 生 場 所	積丹町沖合
漁 業 種 類	タコ空釣り縄漁業
所 属 漁 協	東しゃこたん漁業協同組合
被 害 金 額	282,062円
救 済 助 成 金	282,000円

（2） 漁業操業安全対策事業

ア. 石狩湾新港に入出港する船舶の航行と漁業操業の安全を確保するため、協定航路及び操業漁場図を表示したカレンダー（860部）を作成し、漁業関係並びに船舶関係等63団体に配布して、その周知徹底を図りました。